

## 平成12(2000)年5月7日 ひょうと落雷による災害

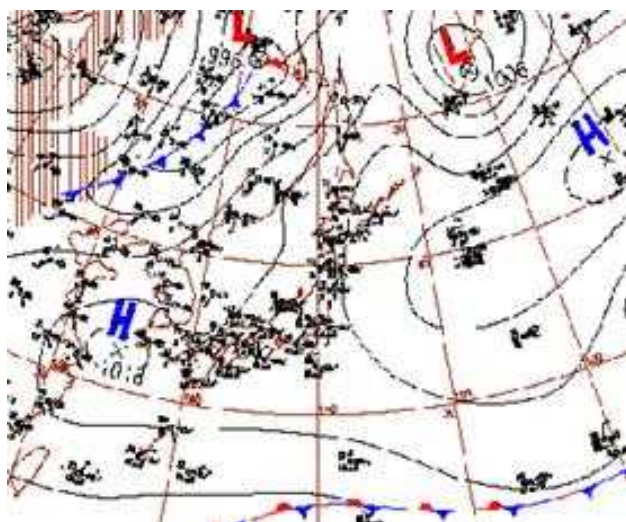
### 概況

5月7日は高気圧に覆われていたが、日本海の上空5,500m付近には夜になって寒気を伴った低気圧が進んできた。このため、東海地方は大気の状態が不安定となり、県内では7日宵の内から8日午前3時頃にかけて、西から進んできた発達した積乱雲により激しい雷雨となった。

7日夜には尾張旭市、小牧市などで「ひょう」が降り、小牧市では果実(梨)に被害が発生した。また、同日夜は、落雷のため、犬山市、小牧市、稲沢市、瀬戸市、蟹江町、弥富町の4市2町で約45,500戸が一時停電した。

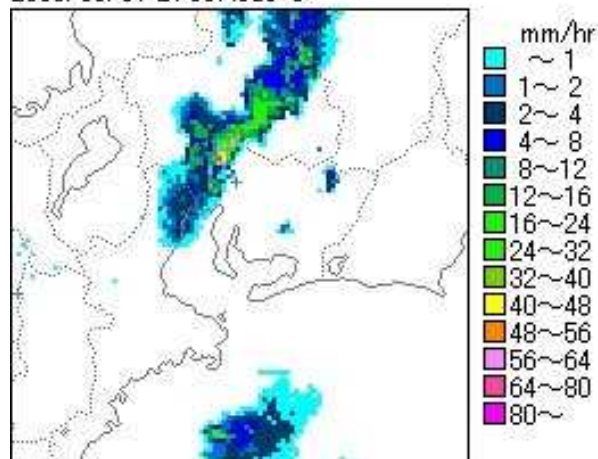
### 愛知県内の被害状況

ひょうに伴う農業被害	2ha(535万円)
落雷に伴う停電被害	4市2町 約45,500戸



地上天気図(平成12年5月7日21時)  
東海地方は日本の東海上と東シナ海に中心を持つ二つの高気圧の間の弱い気圧の谷となっている。

西部東海 Radup97 強度 東京 新潟 福井 名古屋 大阪  
2000/05/07 21:00 Mode-3



レーダー合成図(平成12年5月7日21時～8日03時)  
西から進んできた発達した積乱雲が愛知県を西から東へ通過した時のレーダー合成図である。愛知県尾張・西三河北部では激しい雨を観測し、「ひょう」や「落雷」が発生した。